

令和 6 年度

生涯学習係／青少年育成センター
事業報告書

生涯学習課 生涯学習係

家庭教育

No. 1

区分	事業名	事業の趣旨	主催	事業の概要				
				期間	場所	参加対象	人数	事業内容・実施方法
主 催 事 業	1 家庭教育講座	人間形成において重要な影響力を及ぼす家庭教育を充実させるために各教育委員会等と連携し、数多くの親が参集する場で学習機会を提供し、家庭教育機能の向上を図る。	町教委	10月2日(水) 9月27日(金) 10月9日(水)	厚岸小学校 真龍小学校 太田小学校	新入学児の保護者	15人 27人 2人	新小学1年生のスクリーニング検査時に、保護者を対象とした子育て講話を行った。(教育委員会指導室連携)
	2 人形劇公演	音楽や演劇等の上演を行い、芸術文化を鑑賞する機会を提供するとともに、情操のかん養を図り健全育成に寄与する。	町教委	10月20日(日)	情報館	町内1才以上の町民	65人	クレヨンカンパニーによる公演。 ・ガラクター人形の「びっくり！どっきり！パフォーマンス」 ・影絵劇「めがねぼっちゃんとへんてこロボット」 ・影絵体験会
	3 親子体験講座	指導者の活用と学習機会の場を提供するとともに、乳幼児期の子を持つ母親の豊かで文化的な子育てに寄与する。	町教委	7月21日(日)	真龍小学校	乳幼児とその親	9人	町外講師による親子体験講座。 ・「おひるねアート撮影講座」 講師：おひるねアート森のくまさん もりかわ みえ氏
	4 子育て支援の情報提供	子育てに関する情報を町民に広く伝え、啓発することにより家庭教育の充実を図る。	町教委	随時		子を持つ親	—	家庭教育における講座の情報提供。
支 援 事 業	5 北海道家庭教育サポート企業制度	企業や各種施設、飲食店等に啓発を通して社会全体で子どもを育てる意識の高揚を図る。	道教委	随時		各企業等	—	家庭教育を支援するための職場環境づくりに取組む企業等を促進する、家庭教育サポート企業だよりの配付。
	6 家庭教育支援者の養成とネットワーク事業	全ての保護者が安心して家庭教育を行うことができるよう、「家庭教育ナビゲーター」の養成及び育成を行うとともに、市町村の家庭教育支援者のネットワーク化を進め、家庭教育支援の充実を図る。	道教委 町教委	随時		サークル指導者 PTA関係者 子育て関係者 教員など	—	「家庭教育ナビゲーター」養成・育成及びスキルアップのための研修会等の案内。

少年教育

No. 2

区分	事業名	事業の趣旨	主催	事業の概要				
				期間	場所	参加対象	人数	事業内容・実施方法
主 催 事 業	7 少年の主張大会	少年が自らの体験や考えを提言することにより、社会の一員としての自覚と責任に目ざめ、健康な心身づくりに努めることを助長する。	町教委	6月1日(土)	情報館	町内中学生	5人 入場者 45人	町内各学校の代表者による発表。(最優秀賞1名、優秀賞2名、佳良2名を選考) 最優秀賞 塚田 卓奈都さん(真龍中学校)
	8 少年芸術鑑賞事業	少年の芸術鑑賞の機会を提供し、情操のかん養を図るとともに、芸術に対する理解を深め、人格の健全育成に寄与する。	町教委	9月5日(木) 9月4日(水)	厚岸小学校 真龍小学校	町内全小学生	99人 193人	公演団体：(株)劇団民話芸術座 公演内容：演劇鑑賞「雨ふり小僧」 (太田小学校児童は真龍小学校で鑑賞)
			町教委	9月19日(木) 9月19日(木)	厚岸中学校 真龍中学校	町内全中学生	48人 121人	公演団体：(公)日本青少年文化センター 公演内容：音楽鑑賞「サクソフォンとピアノのコンサート」(太田中学校生徒は真龍中学校で鑑賞)
	9 友好都市子ども交流事業	友好都市である山形県村山市と厚岸町の子どもたちが、お互いの地域の風土や文化にふれ、野外活動交流をとおして子どもたちの感性豊かな人格形成に寄与する。	実行委員会	7月30日 ～8月2日 (3泊4日)	山形県村山市	厚岸町・村山市の小学4年生～6年生	14人	本年度は厚岸町の児童が村山市を訪れ、体験活動等を通じて交流を行った。(3泊4日) ※児童10名、引率者4名で訪問。
	10 姉妹都市中学生等国際交流事業	姉妹都市であるオーストラリア・クラレンス市で、ホームステイ等による国際交流を通して、国際感覚を持った人格形成を図る。	実行委員会	3月22日 ～3月29日 (7泊8日)	オーストラリア タスマニア州 クラレンス市	町内の中学生 " 高校生	13人	ホームステイや学校交流を行うとともに、異文化に触れ国際性を養う。(7泊8日)※中学生8名、高校生2名、引率者3名で訪問。
	11 防災標語募集事業	太平洋沿岸部を震源とする巨大地震発生時に適切な避難行動を促すために、町民一人ひとりの防災に対する意識の高揚を図る。	町教委	募集 5月～6月 審査・選考 7月8日		町民	応募数 218人	町内の小中高等学校への募集依頼及び投票箱の設置等により、一般町民の募集を募る。(最優秀賞：山口 陽南太 厚岸中学校2年)
	12 あいさつ声かけ運動の奨励	生活の基本である「あいさつ・声かけ」を奨励し、子どもを地域で守るとともに地域の防犯対策につなげる。	町教委	通年	各小中学校・町内		—	町内の各小中学校に横断幕の掲示。 生涯学習情報誌『LL TIMES』等での町民への奨励。

少年教育

No. 3

区分	事業名	事業の趣旨	主催	事業の概要				
				期間	場所	参加対象	人数	事業内容・実施方法
主催事業	13 早寝早起き朝ご飯運動の奨励	子どもの基本的生活習慣を育成し、心身身の健やかな発達を促し、子どもの健全育成に寄与する。	町教委	通年	各小中学校・町内	全町民	—	町内の小中学校に横断幕の掲示、生涯学習情報誌等での町民への奨励及び夏休み・冬休み中のＩＰ告知端末での啓発。
	14 職場体験支援事業	中学校で実施している「職場体験学習」の支援として、職業を通した進路学習等に寄与する。	町教委	6月17日送付	厚岸町内	町内の中学生	—	各中学校の「総合的学習」での職場体験が円滑に行われるために支援企業・機関等のリストを作成し提供。
	15 通学合宿	家庭を離れて異年齢での集団活動を体験することにより、よりよい生活習慣及び学習習慣の定着を図る。	町教委	インフルエンザ等の流行により中止	ネイパル厚岸	町内の小学生	—	学生ボランティアの協力のもと、スポーツ交流や学習時間の定着を目指し、規則正しい生活を送りながら、子どもの体力や学習意欲の向上を図る。
団体事業	16 厚岸町地域子ども会育成連絡協議会事業	様々な体験活動を通して、少年の健全育成と世代間交流に寄与する。	厚子連	3月9日（日）	真龍小学校	町内の児童生徒及び育成者	36人	冬季体験事業「そば打ち体験」を開催。（町内施設活用し、地域の食材を味わい郷土愛を育む）
	17 北海道地域子ども会育成研究協議会	地域における子ども会活動に関わる育成・指導上の問題点を明らかにするとともに、望ましい子ども会活動のあり方を研究協議し活性化を図る。	道子連	11月23日～11月24日	羽幌町	管内の子ども会育成者・事務局及び行政担当者	—	事例発表、全体協議。
	18 釧路地区地域子ども会研修交流会	管内の子ども会会員が集まり、スポーツ大会などの体験活動をとおして交流し親睦を深め、子ども会活動の一層の発展を図る。	釧子連	2月23日（日）	弟子屈町	釧路管内の小学生、子ども会会員	—	管内の各市町村が持ち回りで実施。今年度は、弟子屈町の摩周観光文化センターにてモルックやドッチビーなどの軽スポーツを行い交流。
	19 釧路地区地域子ども会育成連絡協議会育成指導者研修会	管内における子ども会活動に関わる育成・指導者が一同に会し、子ども会活動に関わる問題についての研究協議に取り組むとともに、子ども会活動の一層の発展を図る。	釧子連	中止	標茶町	釧路管内の子ども会会員	—	釧路管内の各市町村が持ち回りで実施。※令和5年度：厚岸町にて開催。

少年教育

No. 4

区分	事業名	事業の趣旨	主催	事業の概要				
				期間	場所	参加対象	人数	事業内容・実施方法
派遣事業	20 少年の主張釧路総合振興局地区大会	少年が日頃考えていることについて意見を発表し広く道民に訴え、相互理解を深め青少年の健全な育成に資する。	釧路総合振興局	7月31日(水)	釧路市立釧路小学校	町内少年の主張大会で最優秀賞を受賞した者	1人	釧路管内市町村代表者8名による発表大会。(優良賞：塚田 皐奈都 真龍中学校3年)
	21 少年の主張全道大会	少年が日頃考えていることについて意見を発表し広く道民に訴え、相互理解を深め青少年の健全な育成に資する。	北海道環境生活部	9月6日(金)	札幌市	釧路総合振興局地区大会で最優秀賞の者	—	各振興局代表者による発表大会。
	22 青少年の体験活動推進事業「ジュニアリーダーコース」派遣事業	中学生・高校生による他市町村の参加者との交流、地域課題の解決に向けたアクションプランづくり等を通して、地域における主体的なリーダーを養成する。	道教委				—	道教委主催事業のため、情報誌等での周知の協力。

成人教育

No. 5

区分	事業名	事業の趣旨	所管	事業の概要				
				期間	場所	参加対象	人数	事業内容・実施方法
主 催 事 業	23 二十歳のつどい	二十歳を祝福し、成人としての権利や義務を認識させるとともに有意義な人生を歩むよう激励する。	実行委員会	1月5日(日)	真龍小学校	新成人 H16.4.2～ H17.4.1生まれ	対象者 92人 参加者 60人	アトラクション、式典などを実施。
	24 厚岸町生きがい大学	町内の高齢者が急速な社会の発展に適応するために必要な教養・生活技術を習得し、豊かな人間関係を培い生きがいのある人生を送ることを目指す。	町教委	① 4月26日 ② 5月28日 ③ 6月26日 ④ 7月22日 ⑤ 8月27日 ⑥ 9月30日 ⑦ 10月31日 ⑧ 11月8日 ⑨ 12月19日 ⑩ 1月30日 ⑪ 2月20日 ⑫ 3月17日	ネイパル厚岸 真龍小学校 海事記念館 町内一円 弟子屈町ほか 浜中町 情報館、水鳥観察館 真龍小学校 情報館 根室市ほか 尾幌酪農ふれあい館 真龍小学校	厚岸町在住のお おむね65歳以上 の男女	20人 23人 20人 14人 18人 19人 17人 17人 20人 24人 23人 —	始業式、オリエンテーション、フロアカーリング 学習会(健康講座)及び調理実習 学習会(プラネタリウム、厚岸町の歴史) 地域学習(厚岸十景をめぐる研修会) 夏休み日帰り研修会(硫黄山、摩周湖ほか) 学習会(音楽鑑賞:防犯ふれあいコンサート) 学習会(ブックトーク、野鳥に係る講話) 真龍小学校5年生交流学習会、防犯講話 映画鑑賞会(「いつでも夢を」1962年) 冬休み日帰り研修会(道立北方四島交流センターほか) 調理実習 大雪により中止
	25 生涯学習講演会	町民の高度化し、多様化した教育的・文化的な学習要求に対応した学習機会を提供し、生涯学習の推進に寄与する。	町教委	11月23日(日)	厚岸中学校	町民	85人	講演内容:『『香り製品』が子どもに与える影響～子どもを守るためにできること～』 講師:小樽・子どもの環境を考える親の会代表 神 聡子氏 ※町PTA連合会研究大会と合同開催
	26 英会話教室	町民の英語力の向上と文化相互理解を図るとともに国際性を養う。	町教委	10月～12月毎 週火曜日 (全8回)	真龍小学校	町民	15人	町に派遣されているALTを講師として開設。アシスタントについては、公募にて実施。
	27 趣味・文化講座	町内外の指導者を講師に講座を開催し、指導者の活用と学習機会の場を提供するとともに、町民の豊かで文化的な生	町教委	4月14日(日)	尾幌酪農ふれあい館	町民	11人	「燻製体験講座」 町内講師:山本 浩二氏

		活の向上に寄与する。		5月12日(日) (中止)	真龍小学校	町民		「初心者カメラ講座」 講師：映像集団「光風」 福田 美樹夫氏
				6月22日(土)	真龍小学校	町民	13人	「アロマ体験講座」 講師：LaundEdge 高山 真由子氏
				6月30日(日) 8月7日(水)	真龍小学校 真龍小学校	児童生徒	25人	夏休み工作フェスティバル「陶芸体験会」 講師：陶芸サークル「陶工房」 戸田 恵氏、金谷 亜矢子氏
				9月8日(日) 9月14日(土)	真龍小学校 真龍小学校	町民	8人	「大人の陶芸教室」 講師：陶芸サークル「あんず」 梶谷 祐子 氏、福田 都子 氏
				10月3日(木)	上尾幌コミュニ ティセンター	町民	11人	「バンドクラフト体験」 講師：佐々木 優子 氏
				11月6日(水)	真龍小学校	町民	12人	「スパイス料理講座」 講師：PASSPORT 澤田 純子氏
				12月8日(日)	真龍小学校	児童生徒	15人	冬休み工作フェスティバル「陶芸体験会」 講師：陶芸サークル「陶工房」 戸田 恵氏、金谷 亜矢子氏

成人教育

No.6

区分	事業名	事業の趣旨	所管	事業の概要				
				期間	場所	参加対象	人数	事業内容・実施方法
主催事業	28 まなviva厚岸	町民の学習要求に応えた講座を展開し、学習機会の拡充を図るとともに、指導者の発掘を促し生涯学習社会の推進に寄与する。	町教委	通年	真龍小学校	町民	延べ人数 2,066人	講座形式で事業を開催。 【7講座】ヨガ・ストリートダンス・三味線・カルトナージュ・エコクラフトバンド・己書・ギター
団体事業	29 厚岸町PTA連合会研究大会	町内のPTA関係者や町民が一堂に会し、講演や情報交換を通じて、保護者や教師などの連携のもとに、子供の健全育成を図る。	町P連	11月23日(日)	厚岸中学校	PTA関係者 関係機関団体 町民	85人	講演は、生涯学習講演会を兼ねる。 講演内容：『香り製品』が子どもに与える影響～子どもを守るためにできること～ 講師：小樽・子どもの環境を考える親の会代表 神 聡子氏
派遣事業	30 第44回北海道社会教育委員長等研修会	全道の社会教育委員長などが一堂に会し市町村の実情交流をするとともに、講演講義等の研さんを通じて社会教育の振興を研修する。	道社連	7月11日(木)～12日(金)	札幌市	社会教育委員長	1人	森脇委員長出席。
	31 第63回北海道社会教育研究大会	全道の社会教育委員等が一堂に会し、その活動の充実を図るために、市町村の実情を交流し、その具体的な解決策について研修する。	道社連	11月1日(金)～2日(土)	網走市	社会教育委員	1人	金橋委員出席。
	32 釧路管内社会教育委員研修大会	管内の社会教育委員等が一堂に会し、町村の実情交流をするとともに、研修を通して社会教育委員の資質の向上を図る。	釧路社連	10月4日(金)	鶴居村	社会教育委員	4人	金橋委員、西澤委員、中田委員、葛西委員出席。

芸 術・文 化

No. 7

区 分	事 業 名	事 業 の 趣 旨	所 管	事 業 の 概 要				
				期 間	場 所	参 加 対 象	人 数	事 業 内 容 ・ 実 施 方 法
主 催 事 業	33 厚岸町文化振興事業	本町の文化振興に寄与する活動を行なう団体・個人に助成を行い、町民の情操の涵養と文化の向上を図る。	町教委	通年	町内	町民 文化団体等	4人	本町の文化に寄与すると認められる発表や展覧会等に対し、助成金を交付する。 令和6年度実績：3件（4名）
	34 トップノッチミュージック事業	舞台芸術を鑑賞する機会に恵まれない地域の住民に芸術鑑賞の機会を提供し、情操のかん養を図る。	町教委	11月2日（土）	真龍小学校	町民ほか	58人	公演内容：「秋の演奏会～楽しい音楽との出会い～」 公演団体（委託業者）：株式会社プレタコンポゼ
団 体 事 業	35 厚岸町民文化祭（作品展示会）	町民の芸術活動の普及と奨励のために、日頃の活動の発表と鑑賞の機会を拡充し、文化サークル・グループの育成を図る。	実行委員会	10月25日～ 10月27日	社会福祉センター	町民 文化団体	512人	出展者数：15団体、13個人、約136名 及び各小中学校児童・生徒 来場者数：512名
	36 （芸能発表会）			11月17日（日）	社会福祉センター	町民 文化団体	315人	出演団体：15団体、1個人 出演者数：126名 来場者数：315名
	37 （社交ダンスのつどい）			11月	社会福祉センター	町民 文化団体	—	中止。
	38 釧根絵手紙移動展	釧路・根室管内各市町村の「絵手紙」教室受講者や、絵手紙サークル会員の作品を展示し、愛好者の相互交流を図り、地域に根差した芸術文化活動の推進を図る。	北海道公民館協会 釧根支部	7月～11月 （各市町村 展示期間）	釧路・根室管内各市町村 （厚岸町会場：福祉センター）	町民	512人	各市町村で募集した絵手紙を集約し、各市町村で巡回展示を行う。 開催期間：10月25日（金）～27日（日） ※厚岸町民文化祭作品展示会と同時開催。
共 催 事 業	39 厚岸町吹奏楽フェスティバル	町内の吹奏楽の団体が一堂に会して、交流や演奏を通じて豊かな精神文化の創造、音楽芸術の普及や地域文化の発展に寄与する。	厚岸町吹奏楽団	9月15日（日）	社会福祉センター	町内小中学校・町民	約200人	厚岸町吹奏楽団及び翔洋高等学校吹奏楽部、厚岸Jr. ウィンドバンドが出演。

広報・情報提供

No. 8

区分	事業名	事業の趣旨	所管	事業の概要				
				期間	場所	参加対象	人数	事業内容・実施方法
主 催 事 業	40 生涯学習情報誌『LL TIMES』の発行	生涯学習事業に関する情報等を提供し、町民一人ひとりの意識啓発と厚岸町の生涯学習の推進に寄与する。	町教委	通年		町民	—	町民の知りたい情報、知ってほしい情報を提供し、より見やすく、親しみやすい情報誌を目指す。(月1回、広報「あつけし」に折り込みのほか町内各所に設置)
	41 生涯学習HPの登録・更新	生涯学習関係の情報をホームページ上で提供し、町民の生涯学習の意識高揚を図る。	町教委	通年		町内外	—	生涯学習情報誌や真龍小学校の利用案内等の情報をホームページ上で公開。
	42 生涯学習相談窓口開設事業 (ポータルコーナー)	町民が生涯にわたって学び続けるために、町民の学習要求に対応する相談体制を強化し、町民の生涯学習の推進に寄与する。	町教委	通年		町民	—	生涯学習全般に係る学習相談。
	43 「生涯学習コーナー」設置事業	町民一人ひとりの生涯学習の意識高揚のため、生涯学習関係資料の情報提供を行う。	町教委	通年		町民	—	真龍小学校、役場町民ホールの2ヶ所に設置。
	44 情報告知端末による生涯学習情報の提供	情報告知端末による生涯学習関係の情報提供を行い、町民の生涯学習の意識高揚を図る。	町教委	通年		町民	—	全世帯に供用されている告知情報端末の活用による情報発信。
	45 SNSによる生涯学習課情報の提供	若年層への情報発信及び、より多くの方に最新情報の発信を行い、事業等のPRを行い利用者の増加を図る。	町教委	通年		町内外	—	生涯学習係が主催する事業の告知や事業記録、生涯学習に関する情報を発信。

育成センター

No. 9

区分	事業名	事業の趣旨	所管	事業の概要				
				期間	場所	参加対象	人数	事業内容・実施方法
主催事業	46 優良青少年表彰式	青少年が心身ともにたくましく成長し、立派な社会人になることを期待し、模範となる個人及び団体等を表彰する。	青少年問題協議会	11月29日(金)	役場 (大会議室)	町内の25歳未満の青少年個人及び団体	2人	厚岸中学校3年 竹中 蒼司さん 厚岸翔洋高等学校3年 菊地 深結希さん
	47 社会を明るくする運動啓発事業	犯罪や非行防止、交通事故のない明るい社会を築くために、町民への啓発を行う。	実行委員会	7月11日(木) 7月23日(火)	情報館 イオン、フクハラ前(街頭啓発) 役場、情報館(啓発キャンペーン)	町内の小・中・高校生、関係機関、団体	50人 8人	セレモニーを開催し、小・中・高校生による「宣言」とPR動画上映、啓発グッズを配布した。また、大型店舗前で街頭啓発活動を実施し、7月23日から30日の期間に啓発キャンペーンとして啓発コーナーを設置した。
	48 社会を明るくする運動標語表彰式	標語を考えることで児童生徒に非行防止・交通安全の意識高揚を図り、家庭・学校での明るい生活を目指す。	実行委員会	11月29日(金)	役場 (大会議室)	町内の小・中・高校生	6人 選考数115人	いじめ・非行防止部門、交通安全部門に分けて募集し、審査後、部門ごとに優秀賞各3名ずつ表彰。
	49 専任補導員による巡視・補導業務	青少年の健全育成を図り、適切な指導援助を講ずるために、情報の収集・提供を各学校職員と連携を図る。	町教委	6月～3月	町内	専任補導員	延べ42人 (22回)	児童生徒の登下校時に巡視補導を行なう。湖北地区・湖北地区・合同地区を週1回のペースで巡視。
	50 特別巡視・補導業務	家庭や学校、地域社会とが密接な連携を図り、青少年の健全育成に寄与する。	町教委	5月12日(日) 5月19日(日) 7月5日(金) 7月6日(土)	町内	厚岸警察署少年補導員	延べ42人 (4回)	桜・牡蠣まつり、夏祭りのイベント時に併せて巡視補導活動を実施した。
	51 育成センター巡視・補導業務	児童生徒の安全確保をおこない、青少年の健全育成に寄与する。	町教委	通年	町内	育成センター所員	38回	児童生徒の登下校時に巡視補導を行なった。

52 クリーン厚岸運動	社会を明るくする運動の一環として、各小・中・高校生の環境に対する意識付けを目的とする。	社明・青少年問題協議会	通年	町内各学校・地域	町内の小・中・高校生	延べ1,150人	各学校と地域自治会との連携を通して清掃活動を実施した。
53 育成センターだよりの発行	青少年健全育成のために、教育上の諸問題や育成センターの事業内容等。	町教委	9月・1月・3月		町内の小・中・高校生	3回	青少年の健全育成、非行防止について理解と関心を高めるため、積極的に情報の提供を行った。